



開通が待たれるさくら船岡大橋



舟山 彰 議員

Q 議員のいない地区の要望はいかに

A 積極的に町民の意見を聞いていく

問 議員の出ていない行政区の区長さんより「新市建設計画に、うちの地区の要望がどのくらい反映されるか不安である」と言われました。

このような地区の要望をどのように収集し、計画に反映させようとしているのか。

また、特に次の点について具体的にどうしようとしているのか伺う。

- (1) 新しい橋への土手内地区からのアクセスは。
- (2) 町としての中心商店

街空洞化対策は。

- (3) 住宅のミニ開発地域のカーブミラー設置計画は。
- (4) 今後の下水道工事の見直しは。

答 滝口町長

積極的に町民の意見を聞き、優先順位を決めながら、新市建設計画に盛り込んでいきたいと思えます。

- (1) さくら船岡大橋は平成17年度完成予定で、町は土手内地区の要望である階段を計画しています。

- (2) 地域全体の集客力を高める観光施策、生活文化の場としての整備、仕掛けのできる人材の育成に力を入れます。
- (3) 全ての区から要望のあった32カ所について精査し、年次計画で設置していきます。
- (4) 合併協議では新市において新たに計画を作成できるまでは3町の現行のとおりとします。



白内恵美子 議員

Q 合併の期日、4月1日が有利では

A 有利な4月1日合併を主張

年3月31日を目標として

- (1) 新市事務所の位置の投票結果（柴田町16、大河原町11）の感想は。今後議論が長引く場合は、

- (2) 合併の期日は平成17

使うのは許せない」との指摘がある。原則どおり

と地方交付税が7億5千万円多く交付される。有利な道を選ぶべきでは。

- (3) 住民から、「住民の代表である議員が、住民の納得できない在任特例を

結果は全く予想外であり、驚いているところです。

新しい政策論点でも示されない限り、再投票は有り得ないと思えます。

お互い政策論争で調整すべきで、根回しや取引という形での決着は好ましくないと考えます。

- (2) 町民のための合併を推進している私としては、将来のまちづくりの有効な4月1日合併を主張せざるを得ません。



役場庁舎を望む

- (3) 住民の理解が得られないなら在任特例は使えないのではないかと、が私の基本的スタンスです。

- (4) この時点で2市7町の発言はいかがなものか。今は3町合併に向け、取り組むべきだと思います。